

科目ナンバリング：ULT-2-201-09



■授業の目的及び到達目標

スペイン語とスペイン語圏の文化に対する理解を深めるとともに、学習者がより良い聞き手・話し手になるための資質・能力を育成できるような教授法を身に付け、授業を構成・評価する力を養うことを目的とする。

到達目標は、教材研究 (ICT の活用も含む)、模擬授業・試験の作成と評価の体験を通して、効果的なスペイン語の学び方・教育法を探求し、実践に役立てること。また、第二言語習得理論や教授法に関する基礎知識を概観し、それらをスペイン語教育に応用できるようになること。

■授業計画

〔前期〕

- 1 第二言語習得理論
スペイン語を学ぶ・教える
- 2 教授法、年間計画・単元構成・評価の在り方
CEFR を参考にして (1)
- 3 教授法、年間計画・単元構成・評価の在り方
CEFR を参考にして (2)
- 4 教材研究、学習指導案の作成の仕方、ICT 利用
- 5 スペイン語はどのような言語か
言語とスペイン語圏の文化
- 6 スペイン語の発音：現代の標準的な発音の指導法
アクセントと発音：日本語と比較して指導する
スペイン語の表記：文字・符号
- 7 挨拶・自己紹介
動詞直説法現在、主語人称代名詞、名詞 (職業等)
- 8 家族・友人の紹介 (1)
動詞直説法現在、代名詞、名詞、冠詞、形容詞
- 9 家族・友人の紹介 (2)
動詞直説法現在、疑問詞、数字、前置詞
- 10 日常生活について話す
動詞直説法現在、副詞
- 11 学校生活について話す
動詞直説法現在、副詞
- 12 好みについて話す
動詞 gustar 型動詞
- 13 フィードバックとして前期のまとめと解説。履修者の今後の課題について履修者と共に分析する。

〔後期〕

- 1 語彙指導法、試験の作成と評価法
- 2 人や物を比較する (1)
優等比較、劣等比較
- 3 人や物を比較する (2)
同等比較、最上級
- 4 過去の出来事について話す
直説法点過去と線過去の使い分け
- 5 経験について話す
完了時制、過去分詞
- 6 遠足や修学旅行などの予定について話す
直説法未来形
- 7 現在進行中の事柄について話す
分詞構文
- 8 いろいろな願い事をつぶやいてみよう
接続法の用法
- 9 スペインに住んでいる友達
関係代名詞
- 10 ～してね、～してください
命令形
- 11 歌 (童歌・童謡など) の活用：学習の手段として歌を効果的に用いる
スペイン語圏の絵本・物語の活用：技能を磨く、絵本・物語から見える世界
- 12 異文化理解
言語能力と文化能力
- 13 フィードバックとして授業研究に関する解説と総括

■授業の方法

外国語教育に関する資料を読み、それをもとに、「学ぶ・教える」ことについて考え、学習指導案を作成する。指導案にしたがい模擬授業をおこない、その後内容について議論する。テストの試作、評価も実際に行う。全てに履修者自身の振り返りと教員からのフィードバックの時間を設ける。

■予習・復習

予習：課題について短いレポートをまとめるために資料を読み、模擬授業の準備を行う。復習：模擬授業実施後は、問題点を見つけ、その改善策を議論し、その結果をまとめる。

■成績評価の方法 (成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い)

前期・後期ともに、予習・復習をして授業に取り組んでいるかをみる平常点 40%、レポート・課題についてはよくリサーチされているか、論理的にまとめられているかを評価 30%、模擬授業 (教案を含む) の内容等 30% を合わせて総合的に評価します。

■教科書・参考書

プリント教材、文部科学省(2017)『中学校学習指導要領解説 外国語編』

参考書：白畑知彦、若林茂則著『詳説第二言語習得研究 理論から研究法まで』 研究社、パッツィ・M.ライトバウン、ニーナ・スパダ著、白井 恭弘、岡田 雅子著『言語はどのように学ばれるか -外国語学習・教育に生かす第二言語習得論』 岩波書店

■関連する科目

初級文法 I,II, 中級文法 I,II, 上級表現演習 I,II, 上級作文演習 I,II などの必修科目と教職に関する科目。